

滋賀県環境審議会

第2回水環境部会 会議概要

1. 開催日時 平成15年3月24日 10:00~12:00

2. 開催場所 滋賀県庁別館2階 職員会館大ホール

3. 出席委員 山田部会長、岡村委員、来見委員、重永委員、
中野委員、山本委員、近畿地方整備局、
近畿農政局、近畿経済産業局の9委員

4. 議 題 (1)平成15年度公共用水域・地下水水質測定計画

(2)平成14年度地下水質測定結果(報告)

(3)平成14年度琵琶湖底質化学物質追跡調査結果(報告)

(4)事業場等施設点検指導(報告)

(5)滋賀県環境審議会水環境部会土壌・地下水対策小委員会(報告)

(6)その他

5. 内 容 (1)平成15年度公共用水域・地下水水質測定計画
別添資料2について事務局から説明。

(2)平成14年度地下水質測定結果について
別添資料3について事務局から説明。

(3)平成14年度琵琶湖底質化学物質追跡調査結果について
別添資料4について事務局から説明。

(4)事業場等施設点検指導について
別添資料5について事務局から説明。

(5)滋賀県環境審議会水環境部会土壌・地下水対策小委員会について
別添資料6について事務局から説明。

6. 質疑応答、意見等

[平成14年度公共用水域測定計画について]

来見委員

琵琶湖の底質調査時期について、水質の溶存酸素が最も低下が認められる10月頃に合わせに行っているのか。

事務局

溶存酸素の低下が認められる時期に合わせて行っているわけではないが、底質調査はCOD等の年次変動をモニタリングするために10～11月に行っており、溶存酸素低下時期とほぼ同時期の実施となっている。

来見委員

水質に関して流域単位での取り組む場合、今後さらに琵琶湖の湖底がポイントとなると考えられる。データとして計測しているか。

山田部会長

コメントとして付けていただきたい。

事務局

県では、継続的な計測を行っている。

[平成14年度地下水質測定結果、平成15年度地下水質測定計画について]

山田部会長

地下水測定結果・計画の説明順序について、当年度の結果を先に説明した方が理解しやすい。

事務局

次年度の進行について配慮したい。

来見委員

有機塩素系化合物などが検出された場合、汚染原因を特定していく方向であるか。リスクコミュニケーションの観点からも必要ではないか。

事務局

測定計画に記述しているが、検出を認めた場合、周辺調査を行って汚染範囲の確定を行い、汚染源を特定して改善指導等を行うこととしている。現実的には事業場の特定は難しいが、特定に至らないまでも、立入等により当該物質の不適正な取り扱いや汚染実態がある事業場等に対しては、除去・ばっ気等の改善指導を行う。

来見委員

周辺住民の方々が発生源が特定できない場合、行政側と対立したことはないか。

事務局

対立事例はないが、疑心暗鬼の事例は聞いている。

重永委員

農薬使用量の削減についてはどうか。農薬による河川水の汚染に対するモニタリング体制はどうか。

事務局

公共用水域および地下水の水質測定項目に農薬を対象に実施している。また、農薬とともに公共用水域における事故発生時に対応を行ってきている。

近畿農政局

国の施策において、持続型農業の推進により農薬の使用量削減を図ってきている。

山田部会長

滋賀県の地下水から検出は認められない。

中野委員

河川流域を調査するのであれば、上～下流に渡って調査するのが良いのではないか。

事務局

下流部だけでなく、県内の大河川においては上流部についても観測を行っている。本調査の趣旨は、琵琶湖への流入負荷をモニタリングするもので、最末端の河口付近で調査を行っている。

- ・報告事項 [平成14年度琵琶湖底質化学物質追跡調査結果について]
別添資料4について事務局から報告・説明。
- ・報告事項 [事業場等施設点検指導について]
別添資料5について事務局から報告・説明。
- ・質疑応答、意見等

重永委員

薬品の内容は把握できているか。アンケート未報告の事業所に対する指導はどうか。

事務局

このアンケートでは把握していないが、事業所からの届出書では把握している。未報告の事業所に対しては、立入指導を実施している。

- ・報告事項 [滋賀県環境審議会水環境部会土壌・地下水対策小委員会について]
別添資料6について事務局から報告・説明。

- 以上 -